

広島南支部会報

Hiroshima Nursing Association Hiroshima Minami bulletin magazine

広島県看護協会広島南支部会員数

保健師	26人(入会率 35%)
助産師	72人(入会率100%)
看護師	2,017人(入会率 73%)
准看護師	63人(入会率 13%)
合計	2,178人(入会率 65%)

ごあいさつ

GREETING

支部長
迫井 敏美

広島県看護協会南支部会員のみなさまにおかれましては、平素より支部事業の円滑な運営にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では多くの方が被災し、多くの方が亡くなられたことは非常に胸が痛く、心よりお見舞い申し上げます。看護の力を集結し、私たちに

にできる被災地支援に努めて参りたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症も令和5年5月から5類感染症に移行したことで社会では流行前の日常を取り戻し、宮島にも昨年度465万人が来島し、流行前の賑わいに戻りました。しかし感染症は完全に無くなったわけではなく、病院や地域での感染対策の緊張感は同様に続いているのが現状

です。このような状況の中、広島南支部では4年ぶりに看護研究発表会を参集という形で開催致しました。今年度は4グループが研究サポート事業に参加し、さらに3グループが研究成果を発表いたしました。演者と参加者が活発にディスカッションし、研究に基づいた知見を共有することができました。今後はより多くの方にも参加していただけるよう多様な開催形式を検討していきたいと考えております。

また、広島南支部では看護研究発表会の他にもヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場づくり)や日常の看護場面での巻き込まれやすいトラブルについてなど、私たち看護職が長く働き続けられるための研修会も開催しています。是非ご参加ください。

今後もあらゆる場で働く看護職が連携をはかり、地域の皆様の暮らしを支えていけるよう支部活動を行って参ります。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

南支部施設紹介

▶ カルム訪問看護ステーション南 管理者 安慶田 康夫



令和5年10月に開所4年を迎えました。看護師3名でのスタートでしたが、現在、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・事務員含め合計17名体制となりました。人と人との結びを大切にするという精神のもと、利用者一人ひとりの思いに寄り添う看護、リハビリを提供していくこと、他職種と壁のない関係性づくりを心がけております。また、よりよいサービスを提供するためには、自分自身の身体の健康や心の豊かさが必要だと考えています。フレックスタイム・直行直帰型勤務を導入し、仕事とプライベートを充実させるための働きやすい環境づくりを目指しています。これからも皆様から必要とされる事業所となるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。

南支部総会

リフレッシュ
研修

書き方のクセは生き方のクセ 人生が好転しだす自己改善術

講師 FEA筆跡診断士 F-Pセラピスト 広田 美穂先生

開催日：令和5年4月22日（土）
場 所：広島県健康福祉センター 参加者：32名

研修会を終えて

令和5年度広島県南支部総会を無事に終了し、支部総会後に行われた交流事業である研修会に参加しました。

研修会に参加する前は、自分の書く字や、他人の書く字を意識したことはありませんでした。しかし、今回の研修で、筆跡から自身のクセや傾向を知ることができ、字を書くということは、自分の行動が直接現れているという事に気づきました。

最近では、パソコンを利用する事が多く、使い慣れている漢字でさえも書けない場面があり、字を書くという事自体が以前と比較して少なくなってきました。今回の研修を受けて、今後は自分の傾向を意識しながら字を書くこと、読むことを行って行きたいと思いました。研修に参加させていただきありがとうございました。

広島シーサイド病院 谷口 京子



令和5年度看護協会 南支部総会

開催日：令和5年4月22日（土）
場 所：広島県健康福祉センター
出席者：総数 2,042名
(内訳) 出席者 41名 委任状 1,672名

地域看護
事業

まちの保健室活動

開催日：毎月第3土曜日
場 所：広島段原ショッピングセンター

利用者集計

日 時	4/15	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17
利用者	4名	8名	2名	19名	17名	4名	5名	5名	5名	9名

2月の寒い時期のまちの保健室でしたが、予想より多くの方にご参加いただきました。お声がけすると気軽に血圧測定に参加してくださったり、健康相談をされる中で、趣味のお話をしてくださったりと皆さん会話も楽しんで帰って

いただいたように感じました。参加された方は皆さん実年齢より若く見える方ばかりで、こちらまで元気をいただけたまちの保健室でした。

ヒロシマ平松病院 俊成 弘子

看護広報
事業

進路相談会

開催日：令和5年7月28日（金）
場 所：ヒロシマ平松病院 参加者：15名

研修会を終えて

2023年7月にふれあい看護体験を行いました。当院はコロナ禍で数年実施を見合わせていましたが、今年は15名の高校生と看護技術体験や院内見学、配膳介助等を行いました。また、看護部長の病院紹介や先輩看護師からの体験談を聞いていただき、有意義な時間を共有できました。

看護技術体験では、血圧測定や包帯固定、車椅子移送などを

グループに分かれて体験していただきました。参加された皆さんは初めての体験を積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。私自身も看護師を目指した頃を思い出し、初心に返ることができました。IT化が進み、看護師を目指す若者が少なくなっている今、まずは医療や看護に感心や興味を持ってもらえるよう、今回の交流の場を充実させていく必要があると思いました。

ヒロシマ平松病院 上原 美和子



その他
研修会

救急蘇生

講師 県立広島病院 黒川 良也先生

開催日：令和5年10月28日(土)
場 所：広島市南区役所 別館4階
参加者：10名(内訳：看護師/6名 准看護師/3名 その他/1名)

研修会を終えて

私は現在、画像診断部門のCT・MRI・画像透視室事務を担当しています。造影剤投与後にアナフィラキシーショックに至る症例は年間数例発生しており、急変時対応のスキル修得の必要性を感じ参加しました。

今回の研修での学びは2点あり、まず急変発生時の初期対応が円滑に行われるためには、シミュレーションなどの訓練を他職種と繰り返し行う必要性を理解しました。次にインストラクターの個別指導による心臓マッサージのスキル修得で、上半身を前方に出すように体勢を整える必要性をアドバイスしていただき、効果的な心臓マッサージができるようになったと感じました。次年度も参加しスキルの維持向上に取り組む予定です。

広島大学病院 盛岡 まゆみ

研修会を終えて

令和5年10月28日に「救急医療の現状、心肺蘇生とは」の研修へ参加させていただきました。受講生は病院や訪問看護ステーションで勤務されている方が多く、実技演習では反応の確認から胸骨圧迫などのアルゴリズムに添った指導を行いました。その中でも、一次救命処置で最も大切な胸骨圧迫については理解を深めて頂きたいという考えから、リアルタイムに視覚的フィードバックを備えたマネキンを用いて、胸骨圧迫の「速さ・深さ・リズム・リコイル」をリアルタイムに評価して、受講生の方々は真剣な表情の中にも笑顔が見える時間もあり、インストラクターとしても楽しく学ぶ事ができました。

県立広島病院 黒川 良也



研究事業

広島県看護協会研究サポート講義

講師 広島大学大学院医系科学研究科 恒松 美輪子先生

開催日：令和5年7月4日(火)
場 所：広島市南区地域福祉センター 参加者：13名

研修会を終えて

研究プロセスのうち、研究疑問の形式から研究計画の作成、データの分析など分かりやすく講義いただきました。それぞれの研究テーマをもち参加した受講者は熱心に講義を受け、相談を行っていた姿が印象的でした。1年間サポートを受け、どのような研究結果が発表されるのか楽しみです。

広島大学病院 大下 若菜

研究事業

第23回南支部看護研究発表会

講師 広島大学大学院医系科学研究科 恒松 美輪子先生
座長 県立広島病院 岡田 辰江様

開催日：令和6年2月17日(土)
場 所：広島市南区役所 別館4階 参加者：70名

演
題

1. 震災机上シミュレーション導入の効果と今後の課題 広島大学病院 井上 朱里
2. 消化器乳腺外科病棟における離床センサーの適正使用に向けてーフローチャート作成による解除基準の検討ー 県立広島病院 井川 英子
3. 中期中絶を決断した妊産褥婦の看護ーA病棟における助産師の看護の実態調査と今後の課題ー 広島大学病院 佐伯 果南
4. コロナ禍での医療依存度が高い子供の在宅支援ーひとり親家庭で在宅人工呼吸療法を実現したケースを振り返ってー 県立広島病院 山田 麻衣子
5. 高齢者の保湿ケアの見直しー保湿ケアの標準化のための取り組みー 広島シーサイド病院 赤石 美侑
6. 倫理カンファレンス後の意思決定に対する看護師の意識と行動の変化 広島大学病院 前岡 良徳
7. 心不全患者の家族に対する動画を使用した生活指導の効果 県立広島病院 池田 晶一

研修会を終えて

今回の研究発表では、離床センサーの適正使用や倫理カンファレンス後の意思決定といった、実際に私の病棟でも直面する課題が研究されており、非常に興味深かったです。また、コロナ禍や震災に関する研究も見受けられ、昨今の医療現場で自然災害への危機感が高まっていることや、コロナによる面会制限が及ぼす影響など、それらに関連した課題や困難に直面する場面が増えていることを実感しました。今回の研修で得られた新たな視点や学びを自部署でフィードバックし、看護の質の向上につなげていくと共に、課題や疑問があれば向き合い、深めていきたいと思っています。

県立広島病院 行平 明加



組織強化
研修会

医療・介護の現場で看護職が巻き込まれやすいトラブル

講師 前川・小川法律事務所 弁護士 前川 秀雅先生

開催日：令和6年1月27日(土)

場所：広島市南区役所 別館4階 参加者：43名

研修会を終えて……………

今回の研修では、広島県看護協会の動向や取り組みをより詳しく知ることができました。

特に、まちの保健室や、災害支援ナースなど、看護職が様々な場所や状況で活躍されており、地域の方々が必要とされているのが印象的でした。

前川先生の講義では、具体的な事

例と対策について詳しく解説があり、トラブルに巻き込まれないためには、事前の情報収集や対策の重要性、また、本当に必要な記録とは何か、ということ学ぶことができました。当部署でも類似した事例があるため、トラブルを未然に防ぐためにも今回の学びを日々実践していきたいと考えます。

広島シーサイド病院 是高 美絵子



交流事業

パステルアートとアロマを組み合わせて癒しを得る

講師 日本パステルアロマセラピー協会 松永 千慧先生

開催日：令和5年9月30日(土)

場所：広島市南区役所 別館4階 参加者：17名

研修会を終えて……………

今回、アロマという言葉から癒やされたいという気持ちで参加しました。

最初はアロマ+パステルというものが想像できず、絵心のない私にとって不安もありましたが、色を選ぶ順番で、①自分自身の魂 ②課題 ③今の自分 ④未来が分

かると言われ、自分自身では気づいていなかった部分が発見できるという、わくわくした気持ちに変わっていききました。最後に、他の参加者の皆さんの作品を見て回りながら感心し、感想を述べ合う機会を持つことができ、楽しい時間を過ごせました。

県立広島病院 池田 真紀



社会経済
福祉事業

快眠術 ～意外と知らない上手な眠り～

講師 TUK東洋羽毛 睡眠健康指導士 加藤 尚道先生

開催日：令和5年12月2日(土)

場所：広島県健康福祉センター 参加者：17名

研修会を終えて……………

睡眠についての研修を受けましたが、目から鱗の内容でした。社会的時差ぼけを起こさない事が重要で、いつもより4時間多く眠りたい時は、いつもの寝る時間の前後を2時間ずつ前後で多くとれば、睡眠のリズムが大きく崩れず社会的時差ぼけが起きないと講師が話さ

れました。そうすると、休息が充実し、夜寝つき良くなり、すっきり目覚めることができるようです。

看護師は夜勤勤務等で生活リズムが不規則なので、上手に眠り、眠りを楽しむことができると健康な体が維持できると痛感しました。

古川医院 松田 千絵



編集後記

今年度はコロナ感染症が5類に移行した事もあり、南支部での研修会を以前のような状態で開催する事ができました。久々に再会された方との楽しそうな会話を聞く事もでき、日常に戻りつつあることを実感しています。皆様には数々の研修会参加や感想文等でご協力いただき感謝いたします。次年度も皆様に楽しんでいただける会報となるよう努力していきます。

南支部事務員在室日

火・水・金

9:30~13:30

(但し、都合により変更となる場合があります)



[発行日] 令和6年3月発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島南支部事務所
〒734-0001 広島市南区出汐1丁目11-4 シェンワ出汐107号室
TEL/FAX:082-254-4794 E-mail: s-minami@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 迫井 敏美